

長なしの木

夢と笑顔と「ありがとう」が
あふれる 長幡小学校
令和6年11月28日
第 19 号

上里の子供たちを育てる合言葉：あいさつ、返事、靴そろえ、集中した清掃（膝つき清掃）

【校長賞】提出された冊数：101冊 1冊以上提出した児童数：48名 11月27日現在

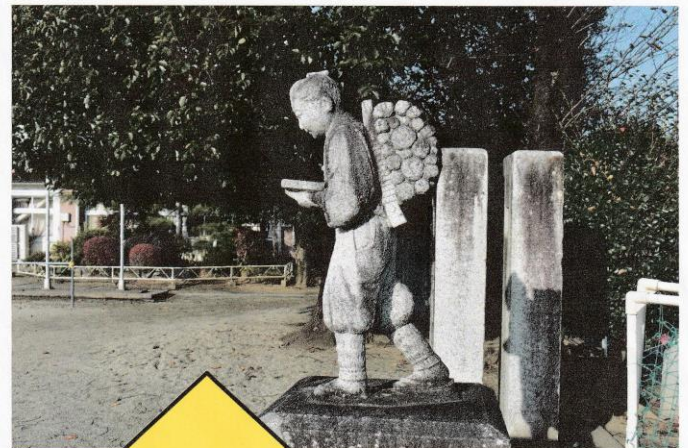


2学期最後の月に入ります。令和6年最後の月でもあります。冬休みの足音がだんだんと大きくなってきて、子供たちのワクワク感も高まってくると思います。楽しみは楽しみとしてとっておいて、まずは2学期のまとめに「やるき・こんき・ほんき」で取り組んでほしいと思います。また、事故や病気に十分気を付けて安全・健康に留意した生活をしてほしいと願っています。

二宮尊徳『積小為大』

全校朝会(12月)

夢と笑顔と「ありがとう」があふれる長幡小学校
～二宮尊徳（金次郎）について～



「積小為大」小さなことをなまけることなくつとめれば、やがて大きな目標に到達することができる。

「推譲」自分の持っている力（1%の力）を「世のため、人のため」に使おう。

12月の全校朝会（11月25日実施）では、二宮尊徳（金次郎）の話をしました。昨年の今頃も、同じ話をしているので、2年生以上の児童にとっては、2回目となります。

二宮尊徳は、荒廃した多くの村々を復興させた人ですが、尊徳の考え方の一つに『積小為大』というものがあります。小さな努力を積み重ねることによって、やがて大きな目標を成し遂げることができることを子供たちに伝えたいと思いました。すべては小さな努力、小さな一歩から始まります。それを途中で諦めることなく継続していくことで、忍耐力や克己心が養われていくものと考えています。

また、『推譲』という考え方については、自分の持っている力の1%でよいから、「世のため・人のため」に使ってみようと思えました。例えば、廊下にゴミが落ちていたら、持っている力の1%を使えば拾うことができるのではないかな。生活の中で、1%の力を使えばできることがたくさんあるのではないかな。

それを見つけて実行することができれば、「夢と笑顔と『ありがとう』があふれる長幡小学校」にもっと近付けるのではないかな、そんな話をしたところです。

健やかな体

上里町では、児童生徒の体力向上を図ることを目的とし、「上里町体力向上推進委員会」を組織し、研究主題『仲間と共に、運動を楽しみ学ぶ児童生徒の育成』のもと諸活動に取り組んでいます。11月21日（木）、各校の体育主任を対象に、本校で体力向上授業研究会を開催しました。本校の荒木教諭が授業（体育：ソフトバレーボール）を公開し、研究協議を行い、北部教育事務所 横山指導主事より指導講評をいただきました。

<よい体育授業の条件とは・・・>

- 学習規律が確立されている。
- 運動量が確保されている。
- 運動の特性を十分に味わわせている。
- 「分かった、できた、上達した」達成感がある。

などが考えられます。これらの条件を念頭に授業を実践し、児童生徒の体力向上へつなげられればと思います。また、体育の時間は週3時間ですので、体育の授業だけで体力を向上させるのは難しいでしょう。休み時間に外遊びをしたり、スポーツ少年団等で好きな運動・スポーツに親しんだりすることもよいかと思えます。



ボールを落とさないように！

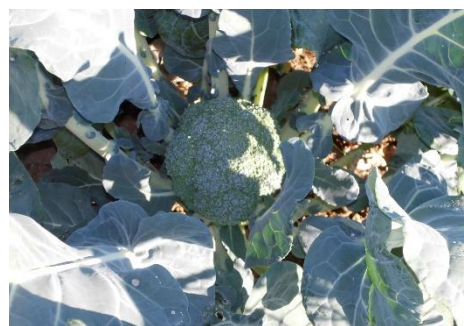


中学校区に分かれて協議したことを発表

研究協議会では、各校の体育主任から様々な意見や感想を聞くことができました。特に中学校の体育主任は、体育を専門とする教職員ですので、専門的な立場から改善点等について話を聞くことができ、貴重な時間を過ごすことができました。

今後も、小・中学校連携を深めながら、児童生徒の体力向上に取り組んでまいります。

季節の移り変わりを感じて



近頃は、季節の移り変わりが感じにくくなっているのではないのでしょうか。そんな中でも少し寒くなってきた、「冬がやって来るのだなあ」と感じるようになってきました。

11月22日には、学校応援団「花ガール」の皆さんに、学校の花壇の植え替え（サルビアからパンジーへ）をしていただきました。（左の写真）

学校農園では、ブロッコリー（中央の写真）やダイコン（右の写真）がすくすくと育っています。もう少しで収穫を迎えることと思います。

季節の移り変わりを肌で感じるとともに、目や耳といった五感を働かせながら感じる教育活動を大切に12月を過ごしていきたいと考えています。